

## 校友会行事



28年度総会 29年3月22日



サロン（ディスコンゲーム）風景 29年5月10日



## みんなにリレー

### ■ 今「北千住」がおもしろい 平澤一正 (4班)

今から半世紀も前、当時の国鉄常磐線北千住駅周辺が中学校の学区であった。勿論、SLが黒煙を吐き出し、力強く走り抜ける様は今でも懐かしく思い出すことができる。最近、親の介護の関係でこの北千住駅を利用することが増え、当時の面影を探しに少し歩き回った。当然ながら、50年以上の時の流れは激変した駅前周辺となっている。駅前の周辺地図には、東口に東京電機大学の本部、西口側には、東京藝術大学、帝京大学、更には、放送大学の足立学習センター等々学生の街へと変身していた。駅前商店街の少し先には、旧日光街道が南北にはしり、この一角は戦災を免れ昔ながらの街並みが残され「千住宿」の面影が残っている。江戸時代から続く接骨医の「名倉医院」、絵馬屋さんなどが並び、宿場に入る南端には、あの松尾芭蕉が「奥の細道」へ向かう出発点があり、その近くにある「慈眼寺」のお墓の一角に「橋本律蔵の墓」があり、「安藤昌益と千住宿の関係を探る会」が説明看板を立てている。戦後間もない1950年(昭和25年)岩波新書から、カナダ人外交官で歴史家のE・ハーバート・ノーマンによる著書「忘れられた思想家—安藤昌益のこと」上下2巻が発刊された。著者は日本の戦後復興を願いながら、真の民主主義を歴史の中から復権し、日本人を励ます意図から出版されたと言う。この著書のサブタイトルにもなっている「安藤昌益」は、江戸時代の医者であり思想家であったが、この人物の存在は長く記憶から消えていた。ところが、彼が残した100巻にも及ぶ原稿本“自然真営道”がこの「千住宿」で穀物問屋の当主であった「橋本律蔵」なる人物によって保管されていたことが分かり、どのような経緯を辿って彼の手元へ入ってきたのか、この“狂人の書”とも云われる程の難解な書の歴史の流れ、また、その後、幾多の数奇な運命を辿った原稿本“自然真営道”。内容は勿論のこと、今なお埋もれた歴史を知る努力が続けられ、「千住宿」の新たなる“知の輝き”となることが期待される。いみじくも多くの若者の街ともなった北千住駅を中心とする「千住宿」は、決して偶然なことではなく歴史に根差しながらも、将来への明るい展望を持ち続ける街としてこれからも大きく発展することだろう。

## 校友会情報

新年度になり大宮校協議会と連携して懸案の事業計画が決まり、5月10日にはサロン活動の「ディスコゲーム」の開催を初め、本日の第1回研修会(古今東西の橋)、7月6日(木)にバス旅行、7月16日(日)浦和踊りへの参加、9月には協議会主催の研修会とゴルフ大会、10月5日(木)オプションツアー NHKスタジオパーク見学と明治神宮の歴史探索、10月11日(水)第2回研修会(イスラムの世界)、10月19日(木)協議会主催の第6回演芸発表会には11期のメンバーは童謡クラブ、太極拳クラブとカラオケに参加予定で諸々の計画が目白押しです。

## クラブ活動 報告コーナー

### ■ 童謡クラブ

5年間ご指導頂いた田中先生が都合により大津に引っ越しされました。思えばあっという間の長いようで短い時間でした。田中先生の紹介で今後は碓井先生にご指導をお願いしました。これから発表会に向け、より美声を磨き、クラブ員一同邁進していきますので宜しくお願いします。



## ■ 史跡めぐりクラブ

今年度の校友会事業計画オプションツアーの担当クラブとなりました。今回、10月5日(木)に5か月前の団体予約が取れた渋谷の「NHKスタジオパーク」の見学と自然が憩う神社の杜「明治神宮」の歴史探索を予定しています。一昨年この計画を立てましたが、代々木公園の「 Deng 熱の発生事件」で止む無く中止した計画の再現です。また初詣などでは混雑して見られない「きよまさいど「清正井」」「めおとくす「夫婦桶」など明治神宮の6つのパワースポット等を散策します。昼食場所も明治神宮境内の文化会館の「レストランよよぎ」が確保できました。なお、時間があればよい機会なので有志を募り若者のまち原宿「竹下通り」散歩を楽しんでみたらどうでしょうか。詳細が決定次第ホームページに掲載します。



## 寄稿コーナー

### ■ 体験のディスコンゲーム 渡辺栄雄 (10班)

風薫る雨上がりの5月10日午後、シーノビル10階多目的ホールは歓声と熱気に包まれました。この日1時半から3時頃迄の予定で校友会サロンの催し、「ディスコンゲーム」が埼玉県ディスコン協会さいたま支部のご協力を得て会員53名の参加により開催された。「ディスコンゲーム」は10年程前に岡山で開発された生まれただてホヤホヤのゲームでまだ馴染みの少ないもの。5~6名のチーム2組が交互に樹脂製直径15cm程のディスク(円盤)を3m以上先に予め投げたポイント(目標)をめがけて投げ、それに一番近いディスクに点数が付く仕組みです。初心者もベテランと対等に楽しむことができるものとして各地で普及活動されているそうです。能書きはさておいてゲームを体験すると、ポイントに近い所へディスクを投げるためには、方向性・距離感・投げる際の手首のスナップの利かせ方等中々難しいものです。経験が増えれば戦略性(慣れれば投げられた自他のディスクの位置関係をひっくり返す為にポイントを自分の投げるディスクで押し出す。又は自分の投げるディスクで既にポイントの近くにある相手方のディスクを押し出して位置を変えてしまう)を駆使して更に面白く楽しめることと感じました。私が入ったHチームは仲間に恵まれて3回のイニング全てに勝って見事1位の栄誉に浴しました。ゲームは53名の参加者が3コートに分散して各コート共4チームが交互に戦って3戦し得点の合計で順位をきめるシステムです。一見単純そうなゲームだが上記の要素をコントロールしないと勝ち抜けない面白さがある。冒頭の歓声と熱気が自然発生するインパクトがある。まだ未体験の方で関心ある方は仲間を誘って市内各地の公民館、小学校、コミセン等での体験教室に普段着のまま参加されることをお奨めします。

(ディスコンゲーム問い合わせ先:048-861-8162 長澤さん)

## ■ 私の趣味 仏像彫刻に生きる 須藤 昭 (2班)

私と仏像との関わりについて、今から二十数年前庭の倒木を何気なく眺めていたらこれで何か出来ないか？ その時心と頭に地蔵様が浮びそこにあったナタと切り出しナイフで彫り出したら似ても似つかない地蔵様、ナイフを使えば使う程可笑しくなって・・・その後しばらくして上野の東京都立美術館で彫刻創型展が有り近代作家で仏師の小林翔雲氏と出会い、「仏像を刻むのには何の資格も年齢も男も女も関係なく、ただ木片に向き合いその中に潜んだ御仏を感じながら無心に仏像を彫り続ける事」が大事との話を聞きました。それから先生に手解きを受けることになり翔雲氏の格言で『鬼手佛心』『刃(やいば)は鬼神の如く冴え、時には荒々しく心は慈悲心を持ち、木の生命(いのち)を大切に刻む』との下、日々精進し今日に至っています。

合掌



作品の一部です

## ■ 編集後記

大宮校 11 期校友会も自主運営に移行して早5年目に入りました。何時も校友会の運営には会員の皆様の御協力を賜り、お陰様で会報「軌跡」17号を発行する事が出来ました。御礼申し上げます。これからも皆様と校友会を盛り上げて行きたいと思っています。6月に入り愈々梅雨の季節又暑い夏がやってきますが皆様にはお身体を大切になさって頂きたいと思います。此れからも 11 期のホームページとメール通信を活用して頂きシニアライフを満喫して頂ければと思います。

編集責任者・高橋 紀元

編集・発行 シニアユニバーシティ大宮校 11 期校友会 広報部

ホームページ <http://senior11omiya.jimdo.com/> 大宮 11 期で検索又は <http://su-omiya-kyougikai.jimdo.com/> シニア大宮校協議会で検索